

補助事業番号 19-90

補助事業名 平成19年度 公設工業試験研究所の設備拡充補助事業

補助事業者名 東大阪市

## 1. 補助事業の概要

### 〈事業の目的〉

近年の製品における精密化や製品の品質保証の面から利用が増してきている既設の3次元測定機（平成9年導入）に対して、利用者にとって操作性の優れたソフトウェアへの入れ替えと、測定プローブヘッドなどを交換することによって、利用者がより使い易いように機能アップを図るものである。今回の3次元測定機における機能アップの目的は、利用者の利便性だけでなく、機器開放、研究会、利用講習会などを通じて、地域の中小機械工業における製品・部品の精度向上や標準化に役立てるとともに、技術者育成や新技術・新製品開発などの技術高度化支援に活用することで、地域経済の活性化に寄与し、中小機械工業の振興に資することである。

### 〈事業の内容〉

今般、財団法人 日本自転車振興会（現：財団法人 J K A）の補助を受け、3次元測定機処理装置一式を導入し、既設の3次元測定機における機能アップを図った。すなわち、センター内に設置している3次元測定機に角度のあるものについても測定が可能となるモータライズ・プローブヘッド、小さな部分などの特殊形状についても対応するための各種スタイラス（測定先端）、測定したデータを短時間かつ正確に解析できる専用ソフトウェアを導入した。これらにより、これまでは対応が困難であった精密な製品等の測定が可能となるとともに、操作性が格段に向上し、短時間での測定結果を得ることができるようになり、装置利用者に時間的、操作的な利便性とより付加価値の高い測定結果の提供ができ、それは地域中小企業における製品開発の促進や製品品質の向上につながることを期待される。こうしたことを実現するために、本事業では、導入装置を開放利用に供するとともに、技術相談や技術者養成の手段としても活用する。

## 2. 予想される事業実施効果

コンピューター数値制御により、製品の複雑な形状、寸法を数値化する高精度測定装置である3次元測定機処理装置一式を導入したことで、既設の3次元測定機における機能アップが図れ、これまで測定が困難であった複雑な形状を有する製品等の形状測定試験が可能となり、操作性も非常に向上する。それらは地域の中小機械工業における製品・部品の精度向上や標準化に有効であり、多くの技術支援が見込まれる。また、導入装置は様々な製品の形状測定試験に対応でき、機械金属製品だけでなくプラスチック製品などの高付加価値化・差別化が図れるなど地域の中小企業に対しては設備開放としての利

用価値があると考えられる。

3. 本事業により導入した設備

3次元測定機処理装置一式

[http://www.techplaza.city.higashiosaka.osaka.jp/sangyo\\_shien/](http://www.techplaza.city.higashiosaka.osaka.jp/sangyo_shien/)

設置場所：【東大阪市立産業技術支援センター】

3次元測定機は、部品・製品の寸法を精密に測定する機器で、その処理装置一式、すなわち、計測システムの更新で、より微細部の測定や測定の迅速化が可能となる。

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：東大阪市立産業技術支援センター

(ヒガシオオサカシリツサンギョウギジュツシエンセンター)

住 所：577-0065

大阪府東大阪市高井田中1-5-3

代 表 者：市長 野田 義和

担当部署：東大阪市立産業技術支援センター

担 当 者：技術相談員 永石 勲男（ナガイシ イサオ）

電話番号：06-6785-3325

F A X：06-6785-3363

E-mail：[sangi-1@blue.ocn.ne.jp](mailto:sangi-1@blue.ocn.ne.jp)

U R L：[http://www.techplaza.city.higashiosaka.osaka.jp/sangyo\\_shien/](http://www.techplaza.city.higashiosaka.osaka.jp/sangyo_shien/)